

令和4年度第3回県土整備政策会議開催結果

県土整備部が行う社会資本整備や良好な生活環境の整備などの様々な政策に関して、学識経験者等からオープンに意見をいただく場として、県土整備政策会議を設置しており、以下のとおり、令和4年度第3回会議を開催しました。

1 日時 令和4年12月22日(木) 午後2時00分から午後4時00分まで

2 場所 県庁講堂棟 131・132会議室

3 出席者

(委員) ※別紙委員名簿のとおり

(県土整備部) 県土整備部副部長、道路企画課長、道路建設課長、
道路管理課長 他

4 議題と委員意見の概要

下記の議題について担当課長からプレゼンを行い、各委員からご意見・ご提案をいただきました。

～プロローグ～ 次世代を見据えた交通基盤の整備

議題の説明に先立ち、三重県の道路整備を取り巻く状況や、多様なニーズに応えるみちづくりの方向性について説明しました。

【主な意見の概要】

・全国の情勢に加えて、三重県の将来像やニーズを踏まえた、三重県らしさのある取組を期待している。

(1) 過疎地での交通手段確保に向けた新たな取組の検討

過疎地での移動手段・暮らしの現状や、これまでの様々な取組などを説明し、高齢者の移動手段・暮らしの拠点確保といった課題を解決するための「道路」の新たな活用策について意見を伺いました。

【主な意見の概要】

・過疎化が進む地域への自動運転の導入は、イニシャルコストが必要であり、費用対効果の観点から考えると効率的なのか疑問がある。地域タクシーやシルバー人材を使った施策であれば、同時に雇用も創出できる。もう少し検討の余地があるのではないか。

・自動運転は非常に面白いが、三重県の道路改良率が全国より低い状況にあり、地元の声聞いてみると、確実に集落に行けるための道路がしっかり整備されている方が大事という認識もあるかもしれない。他の移動サービスの活用も含めて、道路建設課だけではなく、他の部署と連携して検討していくべきではない

か。

- ・バス停から自宅まで移動する時に、自動運転の超小型モビリティ等を使うのはとても効果があると思う。一方で、その場合、普通の車や歩行者のことを考えると専用道路等の整備が、また、充電施設等の整備も必要になるのではないか。
- ・道の駅の取組は素晴らしいと思うが、どこでやるのか、どういう条件で、どういう場所で、どういう対象にするのかということをしっかり検討しなくてはならない。
- ・東紀州の道の駅は、国道42号線沿いにしかない。観光、集客を目的としており、医療施設やスーパーを併設するのは非常に難しい。そこまで行く移動手段もない。新たに中山間地域に道の駅を整備することは、市町の経済的な負担を考えると、非常に難しいと思う。
- ・道の駅の活用については、今後、拠点整備の方法の方向性として、色々な場所に皆さんが集まりやすい仕組みに持っていくということはあると思う。

(2) サイクルツーリズムの推進

ナショナルサイクルルートに指定された「太平洋自転車道」のめざす姿と現状の取組、今後の課題を説明し、効果的に拠点滞在型観光へつなげ、地域に密着したサイクルツーリズムを定着させるために、「太平洋自転車道」の取組をどのように進めていくべきかについて意見を伺いました。

【主な意見の概要】

- ・安全性の確保が重要である。車道と自転車道の分離を道路整備として進められると、自転車で走る方も走りやすいし、車を運転する方も安全に運転できる。
- ・安全性の確保は重要であり、そのためには道路の拡幅もあるが、どうしてもコストがかかってくるので、まずできるところでいうと、自転車に乗られる方や車を運転される方への啓発というのも非常に重要だと思う。
- ・サイクリストが休憩できる環境整備が必要である。例えば、飲食店と共同してサイクルラックと空気入れがあるような場所を整備したり、道の駅を活用したりしてはどうか。夏場に汗を流せるシャワー施設があると良いという声も聞いたことがある。サイクリストのニーズを把握することも重要。
- ・自転車の場合、行って帰ってこられるという視点や、少ない荷物、手ぶらで楽しめる環境整備も必要である。
- ・初めての人が気軽にサイクリングを体験できるよう、レンタサイクルの整備も有効ではないか。
- ・関連イベントの効果的な発信、発信力のある撮影スポット、魅力的な宿泊施設（ゲストハウス）など、SNS等で魅力が拡散されるような工夫も必要ではないか。また、リピーターになってもらうためには、地元の「おもてなし」も非常に

重要な要素だと考える。

今回いただいたご意見については、十分な検討を行い、取り入れることができるものについては積極的に取り入れ、事業推進をはかってまいります。

【会議の様子】



令和4年度第3回三重県県土整備政策会議 出席委員名簿

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・職名	備考
岡島 賢治	三重大学大学院生物資源学研究科 教授	
清水 良保	株式会社久志本組 代表取締役社長	
下野 幸助	三重県議会議員	
鈴木 宙	三重大学生物資源学部 4年生	
竹田 佳彦	中日新聞三重総局 記者	
坪井 あづさ	株式会社エイゼットソリューション	
安岡 優	株式会社百五総合研究所 主任研究員	
吉田 楓	三重大学生物資源学部 4年生	